

平成27年度 第1回経営協議会議事録

日 時 平成27年4月24日（金）14時00分～15時55分
場 所 附属図書館分館・学生支援棟 3階大会議室
出席者 石川、伊藤、大石、塩田、杉田、野田
伊東幸、石井、木村、東郷、前田、丹沢、伊東暁、鈴木の各委員
欠席者 岡部、川勝、晝馬の各委員
陪席者 柳澤、澤渡の各副学長
鈴木、櫻本の各監事
阿部、瓜谷、青木、木村の各学長補佐

議事に先立ち、議長から、本年度から新たに本会議委員となった者、前年度から引き続き本会議委員となる者及び陪席する副学長、監事及び学長補佐について、紹介があった。

I 前回議事録の承認について

平成26年度第7回経営協議会議事録（案）を原案どおり承認した。

II 審議事項

1 第3期中期目標・中期計画の素案（案）の策定について

東郷委員から、第3期における本学の中期目標・中期計画の素案（案）の策定及び各計画を遂行するための措置事項について、資料1により説明があった後、種々意見交換を行った。

なお、同委員から、現在パブリックコメントを5月15日まで募集中であり、6月末の素案提出にあたり、次回本会議に再度提示したい旨の説明があった。

また、議長から、近々本素案（案）について文部科学省に相談予定であり、その際には、数値目標や検証可能な指標等の記載を求められることが想定される旨の説明があった。

（学外委員から出された主な意見）

〔⊕：学外委員の意見等 △：本学側の意見・説明等〕

⊕：留学生の受け入れを増やす条件として、留学生の授業料の無償化が考えられるが、現状ではどの様な取り扱いになっているか。

△：各大学間交流協定校相互間において、概ね3名の授業料を免除している。

⊕：単位互換についてはどうか。

△：現在はダブル・ディグリー・プログラムのみ行っている。外国で履修した科目等を本学履修単位として個別に認めている例はあるが、特に基準を設けてはい

ない。国の基準等が見直されれば、ジョイント・ディグリー・プログラムを学士課程で適用することも検討の対象となってくる。

⊕：創造科学技術大学院は、大学として地域社会のニーズを汲み取る場でもあり、博士課程に社会人を如何に受け入れるかが重要な課題となる。

△：大学院改組の中でどの様な専攻を立てるか等、修士課程と博士課程の連続性の担保を踏まえ、今後検討していきたい。

⊕：県内研究機関や他大学との連携も視野に入れ、若手教員を参画させた医工情連携等を模索してはどうか。

⊕：目標や計画に特段文系に係る記載が見受けられないが如何か。

△：文系については、研究面では個人研究が主体となるため、記載しにくい面があるが、教育面では、学環に新たに国際日本学プログラムを導入することを予定している。また、既存の文系修士課程の見直しについても当然課題として認識している。

⊕：従前は国際化と記載があったものが、今回はグローバル化に変わっているが、静岡大学のグローバル化について、学内で認識を共有しているのか。

△：グローバル化に関する目標・計画については、文部科学省から記載することが必須とされている。グローバルスタンダードや多文化共生等の共通の認識は図られている。

2 国立大学法人静岡大学就業規則の一部改正について

前田委員から、静岡大学教職員人事評価実施規程の改正に伴う国立大学法人静岡大学就業規則の一部改正について、資料2により説明があり、審議の結果、原案どおり承認した。

Ⅲ 報告事項

1 平成27年3月卒業・修了者の進路状況について

丹沢委員から、平成27年3月卒業・修了者の進路状況及び就職支援状況について、資料3により報告があり、次回本会議において確定版を提示したい旨の説明があった。

(学外委員から出された主な意見)

〔⊕：学外委員の意見等 △：本学側の意見・説明等〕

⊕：県外への学生の流出に対する対応が肝要である。

△：本学が申請する「地（知）の拠点大学による地方創生推進事業（COC+）」の取組みの中で、対応していきたい。

2 第3期中期目標における国立大学法人運営費交付金の在り方について

前田委員から、4月8日に「第3期中期目標における国立大学法人運営費交付金の在り方に関する検討会」から出された中間まとめの主要部分について、資料4により報告があった。

続いて、議長から、重点支援の類型については、地域に貢献する取組を重視しつつ、

研究面においても専門分野の特性をしっかりと主張していきたい旨の説明があった。

3 平成26年度の静岡大学の主な取り組みについて

議長から、平成26年度における本学の主な取り組みについて、資料5により報告があった。

4 経営協議会の学外委員からの意見を法人運営の改善に活用した主な取組事例について

議長から、本会議学外委員からの意見を法人運営の改善に活用した主な取組事例について、資料6により報告があった。

5 平成27年度開催日程について

議長から、平成27年度の本会議の開催日程について、資料7により案内があった。

IV その他

1 平成27年度大学教育再生戦略推進費「地（知）の拠点大学による地方創生推進事業（COC+）」について

木村委員から、平成27年度大学教育再生戦略推進費「地（知）の拠点大学による地方創生推進事業（COC+）」について、本事業の創設に至る経緯、本事業の主旨及び本学の申請に向けた進捗状況等が、資料8により報告があった。

2 静岡大学関連新聞記事について

議長から、静岡大学に関連する新聞記事について、参考資料により紹介があり、主なトピックスとして、本学が発刊した「女性研究者ロールモデル集」に係る記事について、澤渡副学長より補足説明があった。

- 丹沢委員から、本学が浜松地区の附属学校で実施している「トップガン教育システム」について、文部科学省において国立大学の取組事例として紹介された旨の報告があった。
- 木村委員から、「静岡大学超領域研究推進本部ニュースレター Vol.7」について、席上配布資料により紹介があった。

以 上